

## 博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	診療情報管理・分析学分野
学籍番号	15S3040	院生氏名	陳迪
通学キャンパス	東京青山キャンパス		
論文題目	A Grouping Method based on the N-dimension Euclidean Divergence using Cerebral Infarction Cases in China and Japan		
審査結果(枠で囲む)	合格		
<p>我が国の疾病群別包括支払い方式(DPC/PDPS)の疾病群分類は手術処置と副傷病の組み合わせに基づく医療資源必要度を分類する方式である。その欠点として分類を精緻化するに従い分類の分岐数が限りなく増大することにある。これに対して我が国では分岐にとらわれず医療資源必要度を区分できるCCPマトリックス(手術・処置と副傷病のマトリックス)による区分方法が検討されている。</p> <p>本研究はこのCCPマトリックスの方法に対して、新たなN次元ユークリッド空間の相対度数分布の類似度(ダイバージェンス)による新たな分類方法を提案し、それを脳梗塞症例(中国1病院929例、日本5病院98例)について検証し、本方法と日本のCCPマトリックスとの比較を行った。結果は、中国と日本の両方の脳梗塞症例の在院日数と医療費に影響を与える因子として、リハビリ、肺炎、II型糖尿病の3因子を抽出した。そしてこれら3因子の有無で全体の症例を8つのグループに区分した。このグループを先の2次元ユークリッド空間ダイバージェンス法を用いて費用や在院に数が類似したグループを集約しクラスターを構築した。その結果、本方法で中国の脳梗塞症例では6クラスターに区分され、日本の脳梗塞症例では4クラスターに区分された。なお日本での脳梗塞のCCPマトリックスでは3区分となっており両方法ともほぼ同様な結果を示した。本検証を通じ、今回の方法論の有用性が検証されたと考えた。</p> <p>本研究の新規性はCCPマトリックスに対して、新たなN次元ユークリッド空間の相対度数分布の類似度(ダイバージェンス)による新たな分類方法を提案した点にある。ただ研究の限界としては検証症例が脳梗塞に限られていることから、今後の本方法論の普遍化には脳梗塞以外に日本のCCPマトリックスで検証された疾患、たとえば肺炎、糖尿病、心不全等においても例数を増やして検証する必要がある。</p> <p>審査会は対面による開催を1回とメールによる審査を行い、審査員の指摘事項について著者が論文修正を適切に行ったこと、口頭試問に対しても適切に回答が得られたことをもって、審査員全員で、本論文が著者に博士(診療情報管理学)の学位を授与するにふさわしいと判断するに至った。</p>			
論文審査担当者	主 査 武藤正樹 副 査 丸山仁司 副 査 只浦寛子		